

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
保健体育	レクリエーション概論	2	2	選	キャリアデザインコース ／スポーツ・メディカル
科目の目標	ゲームや歌、集団遊び、スポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった、対象者や目的に合わせてレクリエーション活動を企画・展開できる「レクリエーション・インストラクター」、スポーツを活用したレクリエーション活動を通じて、運動に親しんでいない人たちを含め、だれもがスポーツ・レクリエーションを継続的に楽しめる場を創出する「スポーツ・レクリエーション指導者」を目指す科目であることから、レクリエーションの理論を現代に則した一般的な形で解釈し、その考え方、推進の方法、教材や指導法、事業計画の立て方、指導者の役割等にまとめて学習する。				
教科書	楽しさをとoshした心の元気づくりレクリエーション支援の理論と方法	副教材等			

1. 学習の到達目標

レクリエーションの特性についての理解と解決を目指した計画的な運動の実践を通して、個人及び社会生活の中で誰もが参加し楽しむことができるスポーツ活動の資質や能力を育てる。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
オリエンテーション	1	4	レクリエーション授業の概要 授業内容・事業参加について レクリエーションという言葉の主旨(目的)			
レクリエーションを学ぶにあたって	1	4	レクリエーションの目的や定義などオリエンテーションを通して学ぶ	○		○
レクリエーション概論①	2	5	レクリエーション支援や活動の楽しさやコミュニケーション能力用いた支援を学ぶ	○		○
レクリエーション概論②	2	5	自主性や主体性を引き出す方法やレクリエーション・インストラクターの役割など	○		○
楽しさと心づくりの理論①	2	6	楽しさを通した心の元気づくりの理解	○		○
楽しさと心づくりの理論②	2	6	集団で行う楽しさを感じる心の仕組みについて	○		○
楽しさと心づくりの理論③	2	7	生理学的な仕組みについて	○		○
レクリエーション支援の理論②	2	7	地域のきずなづくりについて	○		○
レクリエーション支援の理論③	2	8	コミュニケーションと信頼関係づくりの理論	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
レクリエーション支援の方法①	2	9	信頼関係づくりの方法	○	○	○
レクリエーション支援の方法②	2	9	レクリエーションを通じた良好な集団づくり	○	○	○
レクリエーション支援の方法③	2	10	自主的、主体的に楽しむ力を育む理論	○	○	○
レクリエーション支援の方法④	2	10	信頼関係のづくりの方法・ホスピタリティ	○	○	○
レクリエーション支援の方法⑤	2	11	気持ちをひとつにするコミュニケーション技術について	○	○	○
レクリエーション支援の方法⑥	2	11	良好な集団づくりの方法とアイスブレイキングについて	○	○	○
レクリエーション支援の方法⑦	2	11	アイスブレイキングの効果を高める方法について	○	○	○
レクリエーション支援の方法⑧	4	11	自主的、主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開方法	○	○	○
レクリエーションプログラムの計画	6	12	レクリエーションの計画と実践方法を学ぶ	○	○	○
レクリエーションプログラムの計画	6	12	レクリエーションの計画と実践方法を学ぶ	○	○	○
成果発表パワーポイント作成	7	1	パワーポイントを使って資料を作成する力を育む	○	○	○
発表会	5	2	各班で作成したスライドを発表する		○	○
レポート作成	2	2	テーマについて自己研究を行いレポートとしてまとめる		○	○
試験	1	3	学んだ内容についての記述試験	○	○	